

津島市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定 第1回南小学校区懇談会 開催報告

南小学校区の地域福祉を考えるワークショップを開催しました！

- テーマ：「南小学校区における地域福祉の悩みや困りごとについて 話し合おう」
- 日時：平成27年7月1日（水）13：30～15：30
- 場所：南コミュニティセンター
- 参加者：19名（地域参加者9名、事務局10名）

【開会・あいさつ、趣旨説明】

事務局である福祉課の河東より当会議の目的や検討内容、開催スケジュール等の概要について説明し、これからの地区懇談会でお世話になる事務局スタッフをご紹介しますました。

その後、南コミュニティの矢野会長をはじめ9名の地元のみなさんからも、本日の会議のねらいや今後の展望などについてご意見・ご提案をいただきながら、テーマについて話し合いを進めていきました。

今回の会議でいただいたご意見は、市の地域福祉計画及び社会福祉協議会の活動計画に反映するとともに、この地区懇談会を通じて、地域と行政、社会福祉協議会などが連携し、誰もが安心して住み続けられる南小学校区のまちづくりを一步ずつ進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



■南小学校区における会議予定

回数（時期）	テーマ・内容
第1回 （7/1）	ガイダンス、地域福祉の問題点の検討
第2回 （8/19）	地域主体の地域福祉活動のアイデア検討
第3回 （2月頃）	H28以降の計画推進方策や体制等の検討

【アンケート調査結果などから、南小学校区の地域福祉の現状を確認】

昨年度に2,000名の市民を対象に実施した地域福祉に関するアンケート調査の結果をご説明し、とくに南小学校区における特色や強み・弱みなどを確認しました。また、昨年度に実施した防災・減災に関する住民会議で指摘された災害時要支援者に関する課題、さらには最近の学区の生活環境の変化なども改めてみなさんで確認しました。

こうした調査結果などを踏まえて、南小学校区の地域福祉の主な問題点を5点に整理し、それらを中心に他の課題についても幅広く話し合いを行いました。



- 【地域のつながりが弱い】新たに転入してきた若い子育て世代などとの交流が不足
- 【高齢者世帯の日常生活の困りごとや不安】毎日の暮らしのちょっとした困りごとが増えている
- 【地域福祉の担い手が不足】担い手の高齢化が進むものの、新たな担い手の発掘が困難
- 【防犯・防災上の不安】災害時に避難が難しい高齢者も多い。防犯対策も遅れがち
- 【公的な福祉サービスの周知・活用不足】福祉サービスが複雑化してわかりにくく、情報不足

南小学校区の 身近な暮らしの問題点や困りごとなどを 話し合いました



今後、南小学校区において地域ぐるみによる支えあい・助け合いの地域福祉活動を推進していくために、子どもや高齢者や障がい者をはじめとする南小学校区の住民がかかえる、身近な暮らしで直面している困りごとや悩み、問題点などについて意見交換がなされました。みなさんからいただいたご意見は主に以下のとおりです。数多くの貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

主な課題	参加者のご意見(南小学校区における地域福祉の問題点)
新旧住民の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人との接点がどうしたら作れるか ・日中顔を合わせることがない ・世代を超えて交流できる機会や場所が少ない ・参加する人と無関心な人との差が大きい
地域の絆づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・若者、高齢者の行事参加が少ない ・20代～40代の人たちの考え方が理解できない ・コミュニティ行事のPRをしても参加がない ・地域のイベントなどに参加したくても、どこから情報を得たらよいかわからない ・地域のリーダーを育てるにはどうしたらよいか
担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯が町内代表をやっており、機能を果たせていない ・子ども会の会長、役員の担い手がない
外国人との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会費や生活のルールについて伝わりにくい(理解されていない) ・放課後クラブの理解がされていない
高齢者の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンなど気軽に話し合いの出来る場が少ない
高齢者の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブに入っていない人のフォロー ・生活の様子がよくわからない ・65歳以上の一人暮らし高齢者が急病になった時のフォロー
障がい者の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の支援がわからないが、障がい者の方が災害に対する意識があると思う
安全な避難確保	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に助ける人がいない
情報不足	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の街の情報を得ないために、地域の集まりへの参加者が少ない ・町内の代表だけでなく、全市民にあふれるほど情報を提供すべき ・地域福祉懇談会の活動も市民に浸透していない ・若い世代は、回覧を回しても見ていない
水道環境	<ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅の配管が古く、水の質が悪い

最後に、みなさんから出されたご意見を振り返り、次回に検討すべきポイントを確認しました。

なお、次回の第2回地区懇談会(8月19日)では、本日出された地域福祉の問題点について、それらを解決するための方策について話し合い、行政や社会福祉協議会、地域がお互いに協力しあってどのような地域福祉の取組を進めていく必要があるのか、具体的に考えていく予定です。

【第1回地区懇談会へのご意見・ご感想】

- ・今まで開かれていなかったもので、ある程度会を重ねればよい意見が出るのではないかと。
- ・より多くの参加者(20人位)が必要。
- ・多くの参加者を集めてほしい。
- ・町内会で生じている問題を情報共有できるのは参考になる。
- ・定期的にこのような会を続けていくことは有意義ではないかと。
- ・問題は各学区で共通している。

≪第2回地区懇談会 開催案内≫

- 日時：平成27年8月19日(水)13:30～
- 会場：南コミュニティセンター
- 内容：地域主体の地域福祉活動のアイデア検討
- 備考：途中参加・退席でも構いませんので、ご興味のある方は、是非ご参加ください。